

少し曇り空模様。登りはとても暑く、汗かきながらでしたが標高 1055m位からは少し肌寒く感じる天候に。でも雨は降らなかったのがラッキー。ナガオのコースは今回初めての挑戦。八ッ淵の滝から登りましたが、植物が豊富で、趣のある原生林で、自然観察・歴史ロマンをたっぷり楽しみました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史 **八ッ淵の滝** :平成二年(1990年)に「日本の滝百選」に選ばれた名瀑。

この滝は、享保十九年(1734)に近江輿地志略に初めて紹介された。文政七年(1824年)大溝藩士前田梅園(長敏)によって著わされた三巻からなる大溝藩の地誌「鴻溝録」がある。(梅園は郡官となって大溝藩内35ヶ村を巡見し、その折りの見聞によつて書物を著わした。)ここには、魚止め・障子・唐戸・大摺鉢・小摺鉢・屏風・貴船・七変返しなどの名瀑が紹介されている。

この滝の壮観さが京洛の人々に知られるようになったのは、天明の頃(1781~89)、京都の詩人藍田が打下の鶴汀などと、この滝を詠んだからと言われている。その後、有名な詩人や画家によって詩歌や絵画に壮大な滝の様子が残されている。

◆トレッキングの様子:緑豊かな素晴らしい原生林の緑陰ウォーキングを楽しんだ



八ッ淵の滝の入口



眺望を楽しむ



大摺鉢を渉る



大摺鉢にて記念撮影



綺麗な樹林に行く



ちょっと・・・モグモグタイム

手づくりの冷凍柿で～す



アシュウスギの巨木の前で

アシュウスギの巨木が多かった



前方は、釣瓶岳



釣瓶岳山頂 1098m



下山:往路を戻る



ロープを使って。



八ッ淵の滝に戻ってきた

◆自然観察



ガンピ



ヤマボウシ



コナスビ



ニガナ



ジシバリ



コアジアイ



クマシデ



アカシデ



ベニバナコツクバネウツギ



キバナコツクバネウツギ



虫こぶ：ナラメリングゴフシ (ナラメリングゴタマバチによる)



コハクウンボク



タツナミソウ



フタリシズカ



エンレイソウ



タニギキョウ



ベニドウダン



サラサドウダン



熊笹



カマツカ



ナナカマド



ホウノキ



タニウツギ



ギンリョウソウ